

田原市図書館資料選定基準

第1 目的

この基準は、田原市図書館資料収集方針第6条の規定に基づき、資料選定にあたって具体的基準を定めるものである。

第2 基準の留意項目

資料の選定にあたっては、次に掲げる事項に留意する。

1. 広範囲な住民の知的活動と課題解決に資する資料を選定する。
2. 田原市及び渥美半島を中心に、関連性の深い周辺地域一帯についての地域資料は、積極的に選定する。
3. 田原市の市政に関する資料は、寄贈を中心に選定する。
4. 新刊書だけでなく、既刊書についても選定の範囲に含める。
5. 多様なニーズに応える必要があるため、複本については、慎重に検討する。
6. 地域住民の要求を把握するため、未所蔵の資料に関するリクエストを受け付けし、資料選定の参考とする。
7. 東三河を中心に、愛知県内における資料収集の状況を踏まえ、効率的な選定に努める。

第3 選定の重要度

この基準の記述のうち、各文末における文言の重要度は、重要度の高い順に次のとおりとする。

1. 網羅的に選定する。
2. 積極的に選定する。
3. 選定する。
4. 厳選して選定する。
5. 選定しない。

第4 分野別選定基準

市内各館及び各分野ごとの留意点を、「日本十進分類法新訂9版」の主題別に記す。

1. 中央図書館

ア. 一般書

ア-1. 総記（0門）

情報科学や図書館に関する資料は、市民の知識教養の習得・調査研究・レクリエーションおよび課題解決に資する上で、その基盤を成すものであることを考慮して選定する。また、特定の分野に分類できないものを積極的に選定する。

以下、特に重点を置く主題を記す。

007～007.3 情報科学は、技術革新が著しく、社会的な影響も大きいので、最新の情報が記述されたものを選定する。

007.6 コンピュータ等は、バージョンアップや新しいソフトウェア、ハードウェア、テクノロジー等に留意し、主に初級から中級向けを中心に需要を考慮して積極的に選定する。

010～017.7 図書館・図書館学は、図書館員及び学校司書の資質向上と、図書館サービスの向上に資するために、特に公共図書館および学校図書館活動を推進するものを網羅的に選定する。

019～019.9 読書法・書評は、利用者が読書の喜びを感じ取れるよう、読書の仕方を分かりやすく案内したもの、様々な分野で活躍する人々が書いたものを積極的に選定する。

020 著作権は、図書館活動に密接な関係があるため、法改正に留意し、最新のものを選定する。

023～023.99 出版は、最新の情報に留意して、図書選定に役立つものを選定する。

024 書店・古書店など図書販売は、図書館活動と密接な関係があるため、最新の状況をふまえ、図書館と書店双方が良い関係を保ち、相乗効果が見込まれるものを選定する。

041 一般論文集・一般講演集は、著名な学者のもの、および著名な論文・講演を厳選して選定する。

049 雑書は、色々な視点から書かれたものを積極的に選定する。

069～069.9 博物館は、図書館と密接な関係にあるので、図書館と関連するものは、積極的に選定する。特に一般的なガイドブックについては、近隣および著名な施設を中心に広く選定する。

070～079 ジャーナリズムは、時事性に留意しながら選定する。特に表現の自由に関する記述のあるものは図書館サービスと深い関わりが考えられるので、厳選して選定する。

080 叢書・全集・選集は、著名なものを厳選して選定し、欠本の無いよう留意する。

ア-2. 哲学（1門）

入門書から専門書まで、主要なものを網羅的に選定する。平易な表現のものを中心としながらも、学問の性格上、専門的なものを選定する。哲学・心理・宗教等の事典・便覧は、主要な主題について、最新のものを選定する。

以下、特に重点を置く主題を記す。

121 日本思想は、各時代の各学派の代表的な思想家の学説、著作、伝記、評伝等と、学派や思想を解説したものを重点的に選定する。

122 中国思想、中国哲学は、各時代の各学派の代表的な思想家の学説、著作、伝記、評伝等と、学派や思想を解説したものを選定する。

126～129 インド哲学、その他のアジアアラブ哲学は、入門書を中心に選定する。日本、中国以外のアジア、アラブの哲学等についても、出版点数が少ないが選定に留意する。

130 西洋哲学は、各時代の各学派の代表的な思想家の学説、著作、伝記、評伝等と、学派や思想を解説したものを重点的に選定する。

140 心理学は、入門書から専門書まで、実用的なものや資格取得に関するものを選定する。

147 超心理学は、利用が多い主題であるが、同じようなものが重複しないように厳選して選定する。また、興味本位のものの収集は最小限とするよう留意する。

148 易占は、特に利用の多いと思われるものを厳選して選定する。また、興味本位のものの収集は最小限とするよう留意する。

148.3 名づけは、定評のある出版社を中心に選定する。

150 倫理学、道徳は、入門書や、既に評価の定まっているもの、社会的関心や話題性の高いものを中心に選定する。

159 人生訓、処世法等に関するものは、一般に関心が高く利用も多いため、諸説を幅広く選定する。また、興味本位のものの収集は最小限とするよう留意する。

160～199 宗教は、布教を目的としたものよりも、宗教を客観的に論じたものに留意する。入門書から専門書まで、主要なものを選定する。神道、仏教、キリスト教、イスラム教の主な経典、注釈書、研究書等を幅広く選定する。その他の宗教についても、収集に留意する。評価の定まらない現代の宗教や宗教批判については、社会的関心や話題性の高いものを中心に、一方的に否定することなく、また偏りのないように選定する。

ア－3．歴史（2門）

特定の歴史観に偏らないよう多様な観点にたった資料を、入門書、解説書、専門書等のバランスを考慮して選定する。

歴史・地理・人物等の事典・便覧は、主要な主題について、最新のものを選定する。

以下、特に重点を置く主題を記す。

201 歴史学は、入門書、概説書、研究書まで、多様な視点で書かれた資料を選定する。

209 世界史は、多様な水準、多様な観点の資料を選定する。

210 日本史は、多様な水準、多様な観点の資料を選定する。また、時代ごとに体系的に選定する。田原市に遺跡が集中する、縄文時代及び利用の多い戦国時代以降を中心に積極的に選定する。

211～219 地方史は、東海地方以外の地方史は、特定の地域に偏りすぎないことを考慮し、おおむね県単位で選定する。

215 東海地方は、特に愛知県及び田原市に関わりの深い資料について積極的に選定する。

220～270 世界史（東洋史・西洋史・アフリカ史・北アメリカ史・南アメリカ史・オセアニア史）は、日本と関係の深い各地域に関する資料を中心に選定する。

280 伝記・相伝は、各分野の著名な歴史的人物を中心に、国内・国外とも幅広く選定する。

社会的関心が高く、利用が多く見込まれる人物をはじめとし、時事性・話題性の高い人物や、田原市を中心に東三河と関係が深い人物も選定する。

288 系譜・家史・皇室、姓氏、家紋等は、入門書、解説書等を中心に幅広く選定する。

289 伝記個人は、各分野の著名な人物について、積極的に選定する。史料的高い日記、記録に留意する。

290 地理・地誌・紀行は、世界各国・各地域についての情報を提供できるように選定する。

旅行のガイドブックは、利用が多い地域を中心に最新版を積極的に選定する。住宅地図、道路地図、都市地図などの地図類は、東三河を中心として、可能な限り新しい版を選定する。

全国の5万分の1の地形図と、愛知・岐阜・三重・静岡を中心とする2万5千分の1の地形図について、数年ごとの買い替えに留意する。

日本全国を含む世界の観光パンフレット類は、多くの利用の見込まれる地域を中心に、無料で入手できるものを積極的に選定する。

ア－4．社会（3門）

主要な主題の基本的な資料を積極的に選定する。時事性のある資料や、社会的関心の高い主題についての資料を積極的に選定する。社会科学の実用書は、新しい資料を積極的に選定する。政府刊行物は、白書や統計書を中心に主要なものを積極的に選定する。法令集は、主要な主題について、最新のものを厳選して選定する。社会科学の事典・便覧は、主要な主題について、最新のものを選定する。

以下、特に重点を置く主題を記す。

302 政治・経済・社会・文化事情は、日本と関係の深い国や地域の情勢を知るのに役立つよう、できるだけ新しいものを選定する。

309 社会思想は、主要な社会思想について、古典及び一般読者向けのものを中心に、バランスを考慮して選定する。

310 政治は、多様な観点の資料を幅広く選定する。日本と関係の深い各国・地域の議会制度、選挙制度、政党・政治団体等の状況がわかる資料を選定する。

317 行政は、消防、危険物取扱者等の実務や資格に関するものについて留意する。

- 318 地方自治は、地方自治体の実務、政策や住民活動に関するものを、積極的に選定する。
- 319 外交、国際問題は、現代日本を中心とした国際関係、安全保障、平和運動等の社会的関心や時事性の高い主題について留意する。
- 320 法律は、各分野についての基本的な資料を選定する。主要な分野については、諸学説の入門書から、ある程度の研究書、判例集、解説書までを選定する。最新のものが提供できるように、改正等について留意する。
- 323 憲法は、憲法改正等の社会的関心や時事性の高い主題のものについて留意する。
- 324 民法は、書式集を含む実用的なものを積極的に選定する。
- 325 商法は、書式集を含む実用的なものを中心として選定する。
- 330 経済は、入門書から研究書までを幅広く選定する。時事的な主題のものも選定する。多様な諸学説については、幅広く選定する。
- 335 企業、経営は、時事性の高いものや田原市に関連の深い企業に関するものにも留意する。
- 336 経営管理は、実用的なものを中心として選定する。
- 338 金融、銀行、信託のうち、個人の資産運用に関するものは、信頼性について留意する。
- 340 財政は、主として自治体財政や主要な税に関するものを選定する。
- 350 統計は、最新の情報を把握できるように継続して選定する。
- 360 社会は、入門書から専門書まで、社会的関心や時事性の高い主題のものを中心に幅広く選定する。
- 364 社会保障は、制度の改変に留意し、新しい実用書、概説書を選定する。
- 366 労働経済、労働問題は、資格取得・就職活動・転職等の社会的関心の高い主題や、失業・リストラ、外国人労働力問題等の時事性の高い主題について留意する。
- 367 家族問題、男性・女性問題、老人問題は、社会的関心や時事性の高い主題のものに留意し、幅広く選定する。
- 369 社会福祉は、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、災害、難民等、福祉の諸問題について、多様な観点に立つ資料を幅広く選定する。福祉事業に従事する者や、福祉を受ける者とその家族にも役立つよう留意する。
- 370 教育は、入門書から専門書まで、教育に従事する者にも役立つよう、幅広い資料を選定する。受験産業、留学情報、いじめ等、社会的関心や時事性の高い主題について留意する。
- 374 学校経営・管理、学校保健は学校教職員等に役立つよう、留意する。
- 375 教育課程、学校指導、教科別教育は、学校教職員等に役立つよう、積極的に選定する。
- 376 幼児・初等・中等教育は、保育士等に役立つよう積極的に選定する。

- 378 障害児教育は、障害児教育関係者や障害児の家族に役立つよう、積極的に選定する。
- 379 社会教育は、生涯学習や家庭教育の観点から幅広く選定する。
- 380 風俗習慣、民俗学、民族学は、古今東西の生活習慣等については、田原市と関係の深い地域に関するものを中心に、多様な観点に立つ資料を幅広く選定する。
- 385 通過儀礼・冠婚葬祭は、慣習・生活・実用に役立つ資料を中心に選定する。
- 387 民間信仰、迷信（俗信）は、「ふしぎ図書館」との関係について留意する。
- 388 伝説、民話（昔話）は、「ふしぎ図書館」との関係について留意する。
- 390 国防、軍事は、近代以降の日本との関係が深いものを中心として、多様な観点に立つ資料を幅広く選定する。東アジア軍事情勢、電子戦等、社会的関心や時事性の高い主題のものについて留意する。

ア－ 5. 自然科学（4門）

市内、近隣自治体の地理的要素に触れる資料については、地域資料分野と調整しながら積極的に選定する必要がある。

400～489.99 自然科学分野全般は、新知見に留意しつつ初級から中級向け資料を中心に需要を考慮して積極的に選定する。

以下、特に重点を置く主題を記す。

400 科学は、科学的に考える力は人生の数々の局面で役立つので、科学雑学や科学的な物事の捉え方等について書かれた資料も含めて選定する。

410 数学は、学習を補助する用途の資料や、数学パズルのような資料も含めて選定する。

420 物理学は、我が国においても近年次々と発見がなされている分野であるため選定する。

450 地学は、当市は表浜を中心にジオパークを有し、南海トラフ地震等の地震災害の発生が想定されている地域でもあり、関心が高い分野であるため、需要を考慮して選定する。

460 生物学は、我が国においても近年次々と発見がなされている分野であるため選定する。

470 植物学は、田原市に特有の植生に留意し選定する。

480 動物学は、干潟には渡り鳥が飛来し、表浜の海岸にはアカウミガメが産卵に来るので、それら地域に関係する資料については地域資料分野と調整しながら網羅的に収集し、動物の写真集等眺めて楽しめるような資料についても選定する。

490 医学全般は、病気への理解を深めるため、医学的根拠のある資料を積極的に選定し、最新情報の提供に努める。医学専門書においても見てわかりやすい記述がされていることに留意し、看護書をはじめとした、医療従事者向け資料を積極的に選定する。診療ガイドラインは、病気の理解や説明に役立てるよう、それが収録される資料も含め、積極的かつ体系的に選定する。民間療法、健康法、医学的根拠の薄い資料においても基本的

な資料を選定するが、内容等の判断は利用者本人に委ねる。

493～497 各疾患資料は、簡易に読める資料から専門的な資料まで、段階に応じて選定する。各種健康法には、特定商品・宗教等を薦める目的で書かれた資料は、厳選して選定する。

499 薬学は、内容の更新に留意し、情報の新しい資料を積極的に選定する。漢方についても、同様に選定する。

ア－６．工学（５門）

トヨタ自動車をはじめとした市内製造業の動向、需要に敏感、迅速に対応し、積極的に選定する必要がある分野である。

500～575.99、576.8～589.99 技術、工学分野

全般は、新知見に留意しつつ初級から中級向け資料を中心に需要を考慮して積極的に選定する。

以下、特に重点を置く主題を記す。

500 技術、工学は、市内製造業の基礎となる分野であり、潜在的、顕在的需要が高いため選定する。

509.6 品質管理、生産管理は、特に需要のある分野であり、専門的な資料もよく借りられる。市内製造業の動向に留意し、需要を考慮して選定する。

519 環境分野は、市エコガーデンシティ構想等施策に留意し選定する。

520 建築学は、写真の多い資料に需要が集中しがちではあるが、製図等専門的資料についても一定の需要があるため選定する。

527 住宅建築は、需要の多い分野であり、出版も多岐にわたる。鮮度の落ちた資料でも一定の需要が見込める分野である反面、鮮度の低い資料ばかりが棚に残ると魅力を損なうため、最新の動向や需要、棚の状況に留意し選定する。

530 機械工学は、市内主要産業、製造業とそれに付随する形で需要の高い分野であるため選定する。

537 自動車工学は、トヨタ自動車を中心に自動車業界の動向および需要を考慮して選定する。

540 電気工学は、資格取得や発電業界、家電業界の動向に注意し選定する。

547.48、548.2 コンピュータ等は、バージョンアップや新しいソフトウェア、ハードウェア、テクノロジー等に留意し選定する。

550 海洋工学、船舶工学分野は、海に囲まれた本市では資格取得のための資料にも需要がある分野であるため選定する。

559 兵器、軍事工学は、特に図解されている平易なもの、写真、CGを含む初級向け資料に需要が集中しがちであるが、それに限定せず選定する。

560 金属、鉱山工学および化学工業分野は、市内製造業の動向に留意し、特に鉱業につ

いては、市内に採石場があり特徴的な産業と考えられるので、郷土資料と調整して需要を考慮して選定する。

570～575.99、576.8～579.99 化学工業は、市内主要産業、製造業とそれに付随する形で需要のある分野であるため選定する。

576 油脂類は、趣味・生活・実用に役立つ資料を中心に選定する。

580 製造工業は、伝統工芸等に留意しつつ、菓子、酒類、雑貨、衣料等については選定する。

582.33 コンピュータ等に関する資料は、バージョンアップや新しいソフトウェア、ハードウェア、テクノロジー等に留意し選定する。

590 家政学全般は、類書が多いため、内容が偏らないように注意し、利用者の関心や要求段階に応じられる資料を、鮮度・深度に留意して、幅広く選定する。

593～594 洋裁、手芸は、流行をとりいれ、基礎的なものから応用的なものまで、幅広く積極的に選定する。

598～599 育児書は、妊娠中、産前・産後から乳幼児期の子育てに関する資料で、基本的なもの・わかりやすいもの・話題性のあるものを選定する。

ア－7．産業（6門）

市の産業構造を考慮し、各分野の基本図書、実用書を中心に幅広く収集し、特に田原市の産業振興に寄与する分野については最新の情報を把握できるものを積極的に選定する。以下、特に重点を置く主題を記す。

610～619 農業は、市の基幹産業であることを留意し、「たはら農業プラン」などの市の施策に関連する項目を重点的に、実用書を中心に幅広く収集し、専門書については需要を考慮して積極的に選定する。620～629 園芸は、市の基幹産業であることを留意し、実用書を中心に幅広く収集し、専門書については需要を考慮して積極的に選定する。

627.9 フラワーアレンジメントは、初級者から上級者まで、要求にこたえられるものを幅広く選定する。

630～639 蚕糸業は、三河地方における蚕糸業の歴史の理解に役立つようなものを選定する。

640～649 畜産業は、市における畜産従事者の利用に供せられる資料を中心に、基本図書や実用書を厳選して選定する。

650～659 林業は、基本図書や実用書を中心に選定する。

660～669 水産業は、市における水産従事者の利用に供せられる資料を中心に、基本図書や実用書を厳選して選定する。

670～679 商業は、起業・経営に役立つ実用書やマーケティングの基本図書や実用書を選定する

680～689 運輸・交通は、実用書を中心に、最新の情報を把握できるものを幅広く選定

する。

690～699 通信事業は、実用書を中心に幅広く選定する。

ア－８．芸術（７門）

利用者の趣味や教養、研究等に役立つ資料を初心者向けからある程度の上級者向けまで、幅広く選定する。

以下、特に重点を置く主題を記す。

710～730 彫刻・絵画・書・版画は、作家研究や作品研究については、基本的な資料を選定する。制作技法に関する資料については、初心者向けのものから幅広く選定する。

740 写真は、技法に関する資料については、入門書からある程度の専門書を選定する。

748 写真集は、話題性のある資料に留意して、幅広く選定する。

749 印刷は、技法に関する資料については、入門書からある程度の専門書まで選定する。

750 工芸は、各種工芸関係の入門書から幅広く選定する。

754 木工工芸は、図画の説明が多く、平易なものを積極的に選定する。

760 音楽は、各ジャンルの資料を幅広く選定する。楽譜は、利用が多いため、クラシックからポピュラー、邦楽までの幅広い分野について、レベルを問わず積極的に選定する。一枚ものの楽譜は選定しない。

770 演劇は、入門書からある程度の専門書まで選定する。

778 映画は、話題性の高い資料に留意し選定する。

780 スポーツ・体育は、各種競技の入門書からある程度の専門書まで選定する。新しいスポーツについても選定する。各種競技の主要選手の資料のほか、時事性や話題性も留意して選定する。

790 諸芸・娯楽は、利用者の要求段階に応じられる資料を、幅広く選定する。

791 茶道・華道は、流派に偏りなく幅広く選定する。将棋・囲碁、ダンスは、初級者から上級者まで、要求にこたえられるものを幅広く選定する。アナログゲームは、流行をふまえて幅広く選定する。

ア－９．言語（８門）

日本を含む世界各地の言語学、言語史・言語事情について、新知見に留意し、入門書から専門書、雑学まで幅広く選定する。

以下、特に重点を置く主題を記す。

809 話し方は、ビジネス・生活・実用に役立つ資料を中心に選定する。

810～819 日本語は、日常生活に深く関わるので、教養・学習・実用に役立つ入門書から専門書まで網羅的に選定する。

811.2 漢字は、レファレンスに留意した資料および、漢字検定などの試験に役立つものを積極的に選定する。

816 文章は、ビジネス・生活・実用に役立つ資料を中心に選定する。

820～899 外国語は、語学の学習・実用に役立つ資料を幅広く選定する。語彙・文法・発音・聞き取りを学習できるよう、CD付のものなど資料の形態に留意して、積極的に選定する。

820～829 中国、フィリピン、インドネシア、ベトナムなどの東洋諸言語は、田原市に住む外国人（研修生・労働者など）の母国語について、受入側からのスムーズなコミュニケーションに役立つよう積極的に選定する。

830～837 英語は、言語の資料の中で最も利用があり、学習人口が多いため積極的に選定する。特に、英語検定・TOEICなどの検定試験学習向けの資料は、初級から上級までを選定する。旅行、ビジネスに役立つ文法、会話集など実用的なものは、初級から中級を中心に積極的に選定する。

840～880 フランス語、スペイン語、イタリア語、その他のゲルマン諸語およびロマンス諸語は、旅行、ビジネスに役立つ文法、会話集など実用的なものを、初級から中級を中心に需要を考慮して選定する。

890 その他の言語は、幅広い言語を厳選して選定する。

ア－10．文学（9門）

文学は、最も利用の多い分野のため、日本小説を中心にエッセイ、詩歌、手記等幅広く選定する。特に、各種の文学受賞作品は、積極的に選定する。

文庫は、利用の多いもの、評価の定まったもの、書き下ろし等を中心に積極的に選定する。単行本（同作品）の所蔵状況、利用状況を踏まえて選定する。

大活字本は、利用が想定される住民のニーズをふまえた上で、多様なジャンルのものを積極的に選定する。

以下、特に重点を置く主題を記す。

902 文学史・文学思想史は、主要なジャンルの文学史を選定する。

910 日本文学は、作家研究、作品研究を中心に積極的に選定する。

911 日本の詩歌は、代表的な古典や主要な作家について、幅広く積極的に選定する。作歌法は、入門書からある程度の専門書まで網羅的に選定する。

912 日本の戯曲は、代表的なものを網羅的に選定する。

913 日本の小説・物語は、利用が多いものをはじめ、時事性、話題性にも留意して積極的に選定する。古典は主要なものを中心に、幅広く選定する。主要な文学賞受賞作品については、積極的に選定する。

914 日本の評論・エッセイ・随筆は、利用の多いものをはじめ、時事性、話題性にも留意して選定する。古典は主要なものを中心に、幅広く選定する。

915 日本の日記・書物・紀行は、著名な作品のほか、時事性や話題性にも留意して選定する。

916 日本の記録・手記・ルポルタージュは、時事性や話題性のほか、闘病記などにも留意して選定する。

918 日本の作品集は、日本文学史において代表的な作家の作品を中心に積極的に選定する。

920～990 海外文学は、各分野の基本的な作品、作品研究、作家研究を選定する。話題性や受賞作品について積極的に選定する。出版点数の少ない国や地域の文学作品についても、できる限り選定する。

イ．児童書

児童書は、乳幼児から中学生程度を主な対象に編集された資料とする。長く読み継がれているもの、定評のあるものは積極的に選定し、複数の購入を検討する。客観的で正確な内容のものを選定する。田原市を主として、郷土の歴史、地理、産業等に関するものを積極的に選定する。学校図書館への連携協力を視野に、学校で利用される主題の本は、積極的に選定し、複数の購入を検討する。資料の少ない主題については、一般図書の購入を検討する。興味本位に扱ったものや、不必要な性的描写や、過度な残虐性、猟奇性のあるものは選定しない。学習参考書、試験問題集は原則として選定しない。以下、特に重点を置く主題を記す。

イー１．実用書

0～8 子どもの知的要求にこたえ、学びを広げ、深めることができるものを選定する。

0 事典類は、子どもの調べ学習に対応できるものを積極的に選定する。

017 図書館について書かれている資料は、図書館の役割や活用法が分かりやすく書いてあり、図書館利用を促進するものを積極的に選定する。

コンピュータ関係の資料は、インターネットやパソコンの使い方や危険性などがわかりやすく、最新の情報が書かれたものを選定する。

1 哲学は、子どもでも理解しやすく、興味や関心、悩みなどに応えられるようなものを選定する。宗教は、偏りなく、各宗教への理解を深められるものを選定する。

2 歴史は、日本史、世界史ともに分かりやすく、正確な事実に基づくものを選定する。伝記は、年表があり、様々な時代の各分野の人物について、子どもでも理解しやすく、正確なものを選定する。国旗は、調べ学習などに対応でき、分かりやすく、最新の情報が書いてあるものを選定する。

地理は、情報の少ない国や地域の資料は積極的に選定する。地理（世界）は、各国の資料を偏りなく選定する。地理（日本）は、中部地方のものは積極的に選定する。修学旅行は、地元の小学生が修学旅行で訪れる京都・奈良を中心に選定する。

3 社会は、社会情勢の変化に対応したものを選定する。仕事は、様々な職業を紹介できるものを選定する。福祉・災害は、子どもの理解を深め、正しい知識が得られるものを

選定する。行事・くらはは、調べ学習に対応でき、地域や民族の偏りが無いよう留意する。特に伝承については、根拠がわかるものを選定する。

4 自然・科学は、科学的なものの見方、考え方を深められ、子どもでも理解しやすいものを選定する。

457 恐竜は、幼児から小学生が理解できるものや、イラストが多用され分かりやすく、最新の情報が書かれたものを選定する。

470 植物は、学校で育てる植物を中心に、様々な種類の植物がのっているものを選定する。

480 動物は、学校で育てる動物を中心に、様々な種類の動物の飼い方や、動物について図や写真を使い、分かりやすく書いてあるものを選定する。

5 技術、工学は、最新の科学技術に留意し、児童が理解しやすく書かれたものを選定する。

510 建設工学、土木工学は、上下水、ごみ処理について、仕組みがわかりやすく書かれた

ものを選定する。環境問題、リサイクルについて、最新の情報に留意し、仕組みがわかりやすく書かれたものを積極的に選定する。

520 建築学は、各地の歴史的、地理的に特徴的な建築物について書かれたものを選定する。

530～540 機械工学・電気工学は、電車、自動車、船等乗り物については、年齢に応じ、写真や図版でわかりやすく正確に書かれたものを厳選して選定する。

560～580 金属工学、鉱山工学、化学工業、製造工業は、身近な工業製品について、わかりやすく書かれたものを厳選して選定する。

590 家政学、生活科学は、健全な生活のための基礎的な知識について書かれたものを選定する。

594 手芸は、写真や図版などで手順がわかりやすく書かれたものを選定する。

596 料理は、写真や図版などで手順が分かりやすく書かれたものを選定する。各国や地域の料理について書かれたものを厳選して選定する。

6 産業は、各産業についてわかりやすく書かれたものを厳選して選定する。農業は、各種農作物の栽培や活用についてわかりやすく書かれたものを選定する。学校教育の内容に留意し、米や野菜などの栽培の実践に役立つものを積極的に選定する。通信事業は、郵便事業の仕組みがわかりやすく書かれたものを選定する。

7 芸術、美術は、世界と日本の芸術について鮮明な図版があるなど、わかりやすく書かれたものを選定する。工作は、工作の手法や作り方、仕組みが写真や絵でわかりやすく書かれたものを選定する。音楽は、音楽に親しみを持てるようわかりやすく書かれたものを選定する。作曲家の伝記は学校教育に留意し、厳選して選定する。演劇は、伝統芸能について図絵等で子どもがわかりやすいものを選定する。学校行事に留意し、演劇脚

本集を積極的に選定する。スポーツ、体育は、部活動や、学校教育で行っているスポーツを中心に実用的でわかりやすいものを選定する。オリンピックやニューススポーツについては厳選して選定する。野外活動はわかりやすく書かれたものを選定する。

8 日本語は、日本語に関心を持てるようなものを選定する。英語は、学校教育にも留意して選定する。その他言語は、初歩的な内容で児童が親しめるものを選定する。

イー 2. 文学

911 詩歌は、古典から現代まで幅広く選定する。リズムカルで、子どもを引き付ける表現で書かれているものを選定する。ことばの美しさを感じさせてくれるものを選定する。

913、933～999 日本文学、外国文学は、古典から現代まで幅広く選定する。視野を広げ、想像力を養うもの、読書の楽しみを味わえるものを選定する。

教科書に掲載されたものは積極的に選定する。読者の発達段階に沿った資料を選定する。低学年物語は、正しい日本語・言葉遣いに注意しているものを選定する。造本がしっかりしていて、壊れにくいものを選定する。装丁や編集（表紙・目次・行間・字の大きさ・余白）が適切なものを選定する。

916 ノンフィクションは、正確な知識や情報に基づいて書かれているものを選定する。

イー 3. 絵本・紙芝居

E 絵本は、子どもの発達段階に応じた作品を網羅的に選定する。子どもの知的、情緒的経験を広げ、興味関心を呼び起こし、豊かな想像力を養うものを積極的に選定する。絵と文章が調和しているものを積極的に選定する。

イー 4. かがくのへや

「かがくのへや」の資料は、身近な事柄を科学的知見でとらえたもの、子どもの科学への興味を刺激し、観察、実験に役立つものを選定する。

イー 5. 児童研究書

児童研究書は、児童図書あるいはその作家を研究するのに役立つものを厳選して選定する。おはなし会等読書を推進する活動に役立つものを厳選して選定する。

イー 6. 児童育児本

児童育児本は、産前産後から乳幼児期の子育てに関するもので、基本的な知識が得られるものを厳選して選定する。

ウ. ティーンズ資料

000～899 実用書は、児童図書または一般図書の枠にとらわれず、中高生の成長を助け、

豊かな心を育てるのに役立つ、図や写真が多く理解しやすい資料を幅広い分野から、積極的に選定する。

366 職業は、就職および職業について扱った資料で分かりやすく、新鮮なものを積極的に選定する。

375 学習法は、学習および試験等の参考となる分かりやすいものを選定する。

376 入学試験、受験は、学習および試験の参考となる分かりやすい資料を収集する。学校案内、受験案内は情報が古くならないよう更新に注意し、校種別の資料を積極的に選定する。

377 大学、高等、専門教育は、学校案内、受験案内は情報が古くならないよう更新に注意し、校種別の資料を積極的に選定する。

764 器楽合奏は、吹奏楽など部活動や授業の参考となる図や写真が多く分かりやすい資料を積極的に選定する。

767 声楽は、合唱など分かりやすく参考となる資料を選定する。

775 各種演劇は、部活動の参考となる図や写真が多く分かりやすい資料を選定する。

780～789 各種スポーツは、部活動で扱うスポーツを中心に図や写真が多く分かりやすい資料を積極的に選定する。

816 文章、作文は、小論文や文章の書き方など分かりやすい資料を選定する。

900～999 文学は、日本及び海外の古典文学から現代文学まで幅広く収集する。変化が著しい年代を対象とするため、様々な読書需要に応じたライトノベルなど多様な資料を積極的に選定する。

エ. 参考資料

「田原市図書館資料収集方針」に準ずる。

オ. 地域資料

田原市出身及びゆかりのある人物の著作物や田原市を題材にした作品は、網羅的に選定する。

郷土を代表する人物、渡辺崋山と杉浦明平に関する資料は、網羅的に選定する。

カ. ふしぎ図書館

「ふしぎ文学半島プロジェクト」の性質を考慮して、幻想文学、怪談、妖怪などに関する資料を入門書から専門書まで、幅広く選定する。泉名月ほか、郷土に縁の深い作家のふしぎに関する作品は、プロジェクトの趣旨から網羅的に選定する。泉鏡花、柳田國男のふしぎに関する資料は、プロジェクトの趣旨から積極的に選定する。

※ふしぎ文学半島プロジェクトとは、「泉名月記念ふしぎ図書館」の開設を機に、幻想文学の楽しみと、数々の不思議に彩られた渥美半島の魅力を発信するものである。

キ. 視聴覚資料

「田原市図書館資料収集方針」に準ずる。

ク. 多言語資料

「田原市図書館資料収集方針」に準ずる。

ケ. にじいろサービス用資料（ハンディキャップ）

にじいろサービス用資料は、視覚障害者だけでなく活字による読書が困難な者等も利用対象者であることを念頭に、利用者層に配慮して幅広い種別、蔵書分類の中から選定する。上記各種別、蔵書分類の活字資料の選書基準を用いて選定する。点字図書館ほか、他の関連機関の資料所蔵状況を踏まえて選定する。

コ. 逐次刊行物

「田原市図書館資料収集方針」に準ずる。

サ. 移動図書館「いずみ号」

児童書

000～912 実用書は、児童の好奇心や知識欲に答えられるよう、幅広い分野から図や写真が多く、説明が理解しやすいものを積極的に選定する。

913～999 文学は、日本を含む世界の物語およびノンフィクションを低学年向けから高学年向けまで選定する。

E 絵本は、児童の自主性を引き出し、実用書および文学への足掛かりとなるよう幅広い作者・内容・対象年齢のものを積極的に選定する。

一般書

000～369、380～912 実用書は、生活、仕事、趣味の充実に役立つ本などを中心に幅広い分野から選定する。

370～379 教育は、学校・クラス運営、授業づくりなどの参考となる資料を、学校現場の需要に留意して積極的に選定する。

913～999 文学は、市内全館の貸出・予約件数等を参考に需要を考慮し、厳選して選定する。

2. 赤羽根図書館

ア. 一般書

基本的には、中央館の選定基準に基づいて選書を行う。

以下、特に重点を置く主題を記す。

- 290 地理、地誌、紀行は、国内・海外を問わずに、全般的な地域で積極的に選定する。
- 379 家庭教育は、関心度の高いものを積極的に選定する。
- 490～499 医学は、図解や説明がわかりやすいものを積極的に選定する。
- 590～599 家政学は、利用者の関心度が高いものを積極的に選定する。
- 593～594 衣服、裁縫、手芸は、基礎から応用までわかりやすい解説があるものを積極的に選定する。
- 596 食品、料理は、子どもからシニア世代まで基礎からの調理がわかりやすく、創作性があるものを積極的に選定する。
- 597 住居、家具調度は、設計やインテリアを中心に、需要のあるものを積極的に選定する。
- 599 育児は、育児書を中心に、子育てに役立つものや関心度が高いものを積極的に選定する。
- 626 蔬菜園芸は、専門的な知識も含まれたわかりやすいものを積極的に選定する。
- 627 花卉園芸は、ガーデニングや庭造りを中心に、関心度が高いものを積極的に選定する。
- 785.3 サーフィン は赤羽根地域で盛んなため、積極的に選定する。
- 810～870 言語は、外国語学習に必要な入門書を中心に積極的に選定する。
- 913～914 日本の小説、エッセイは、日本文学やノンフィクションを中心に、需要を考慮し幅広く選定する。

イ. 児童書

児童書の本への関心や読書力を育てるために幅広く選定する。

000～912 実用書は、児童の好奇心や知識に応えられるように選定する。書棚の新鮮さを保つため、新しく出版された資料を厳選して選定する。

289 伝記は、歴史に興味を持ってもらえるように、関心の高い伝記マンガシリーズを選定する。

913～999 小説は、低学年物語を中心に、高学年まで読書意欲につながるものを厳選して選定する。

E 絵本は、児童や親子で読む楽しみや自主性を引き出せる、絵本全般（乳児、のりもの、かがく、昔話含む）を厳選して選定する。

ウ. 地域資料

地域資料は、この地域の偉人である近藤寿市郎ほか、赤羽根地域に関する資料を積極的に選定する。

エ. 逐次刊行物

雑誌は、男性向き、女性向き等問わず、関心が高いものを中心に選定する。

3. 渥美図書館

ア. 一般書

基本的には、中央館の選定基準に基づいて選書を行う。

以下、特に重点を置く主題を記す。

007.3 コンピュータ関連の資料は、入門書を選定する。

159 人生訓は、自己啓発本を厳選して選定する。

160～199 宗教は、特定の宗教に集中しないように留意する。

2 歴史は、渥美郷土資料館に展示されている貝塚等、縄文時代に関するものを選定する。

317 防災は、入門書を中心に幅広く選定する。

360～379 社会、教育は、職に従事する者の参考になるものを選定する。

4 自然科学は、絵や図の多いわかりやすいものを選定する。

480 動物学は、サシバ、アサギマダラ等の郷土に関係の深いものを選定する。

596 料理は、創造性、情報量、実用性に留意する。

610～619 農業は、積極的に選定する。

7 芸術は、各分野の入門書を中心に幅広く選定する。

8 言語は、特定の言語に集中しないように留意する。

913 日本小説は、歴史小説を積極的に選定する。

イ. 児童書

0～8 実用書は、調べ学習などに対応でき、わかりやすく最新の情報が書かれているものを選定する。

9 文学は、読書の楽しみを味わえるものを選定する。

E 絵本は、児童が豊かな想像力を養うことができ、読書の楽しみが味わえるものを選定する。

ウ. ティーンズ資料

ティーンズ資料は、近隣校及び生徒の需要に考慮したものを選定する。

エ. 地域資料

地域資料は、生誕地が渥美である杉浦明平に関連するものを中心に選定する。

附 則

この基準は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。